



2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月28日

上場会社名 株式会社コア 上場取引所 東
コード番号 2359 URL <https://www.core.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長執行役員 （氏名）横山 浩二
問合せ先責任者 （役職名）執行役員 最高財務責任者 （氏名）山口 隆大 TEL 03-3795-5111
半期報告書提出予定日 2026年11月11日 配当支払開始予定日 2026年12月2日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	13,458	9.3	1,755	8.1	1,828	10.1	1,228	8.0
2026年3月期中間期	12,315	4.4	1,623	23.4	1,660	20.6	1,138	19.2

（注）包括利益 2027年3月期中間期 1,363百万円（ 8.2%） 2026年3月期中間期 1,260百万円（ 34.7%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	85.50	85.48
2026年3月期中間期	79.21	79.16

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	28,627	21,467	75.0
2026年3月期	28,168	20,709	73.5

（参考）自己資本 2027年3月期中間期 21,463百万円 2026年3月期 20,701百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	15.00	—	45.00	60.00
2027年3月期	—	15.00	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	—	—	50.00	65.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	9.3	4,200	10.0	4,300	9.6	3,000	4.2	208.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2027年3月期中間期	14,834,580株	2026年3月期	14,834,580株
2027年3月期中間期	451,579株	2026年3月期	468,479株
2027年3月期中間期	14,372,429株	2026年3月期中間期	14,367,693株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等の注記)	12
(収益認識関係)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の好調持続などに支えられ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、為替相場の変動や高水準で推移する原材料価格・エネルギーコストの上昇、人手不足に伴う人件費の増加などを背景に物価高が定着しており、個人消費の先行きに対する懸念や需要の伸び悩みなど、厳しい状況が続いております。また、主要国における金融政策や通商政策の動向、中東地域をはじめとする緊迫した国際情勢の長期化など、世界経済の先行きにつきましても不透明な状況が継続いたしました。

情報サービス産業におきましては、慢性的な人手不足への対応に向けた業務効率化・省人化ニーズに加え、生成AIをはじめとするデジタル技術を活用したデジタルトランスフォーメーション(DX)推進のための戦略的投資を中心に、企業のIT投資意欲は引き続き堅調に推移いたしました。

このような状況の下、当社グループでは、2027年3月期から2029年3月期までを期間とする「第15次コアグループ中期経営計画」を始動し、各種施策を推進してまいりました。

本計画では、これまで培ってきた社会課題解決力を基盤に、持続可能な価値を創出するプラットフォームの提供を目指し、新たな旗印として「ソリューションプラットフォーマー」を掲げております。

ビジネスモデルの進化を通じて持続可能な価値を創出することで、デジタル社会の実現に貢献してまいります。

具体的には、以下の基本方針を設定し、事業戦略、人材戦略、財務戦略を相互に補完させながら実行しております。

1. ソリューションを起点としたストックビジネスの展開
2. 事業規模の拡大を意識した生産性の向上
3. 企業活動にAIを活用するAIファースト

初年度となる当連結会計年度におきましては、ストックビジネスを見据えた持続可能な新ビジネスの創出により、売上高二桁成長を実現する成長基盤の確立を目指しております。

当中間連結会計期間における各戦略の主な取り組みは以下のとおりであります。

事業戦略：AI活用を前提としたマーケットニーズの深掘りによる新ソリューションの創出や、クローズド環境で利用可能なAIプラットフォームの全国展開に向けた取り組みを推進いたしました。

人材戦略：AIを活用した人材育成と組織開発を進めるとともに、採用DXによる採用効率化及び採用力の向上を図りました。

財務戦略：研究開発の選択と集中による高付加価値ビジネスの創出に注力するとともに、事業規模拡大に向けた全国でのM&Aの検討・推進を行いました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は13,458百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は1,755百万円（同8.1%増）、経常利益は1,828百万円（同10.1%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,228百万円（同8.0%増）となりました。

セグメント別の事業の状況は次のとおりです。

当中間連結会計期間より、従来「顧客業務インテグレーション事業」としていた報告セグメントの名称を「顧客共創ビジネス事業」に変更しております。当該変更は報告セグメント名称の変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

〔セグメント情報に関する定性的情報等〕

	売上高				計			
	未来社会 ソリューション 事業	産業技術 ソリューション 事業	顧客共創 ビジネス事業					
	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
2027年 3 月期中間期	2, 238	7. 8	6, 930	6. 9	4, 290	14. 2	13, 458	9. 3
2026年 3 月期中間期	2, 076	△1. 0	6, 483	14. 9	3, 755	△7. 5	12, 315	4. 4
(参考) 2026年 3 月期	5, 084		13, 695		7, 751		26, 532	

	営業利益							
	未来社会 ソリューション 事業		産業技術 ソリューション 事業		顧客共創 ビジネス事業		計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年 3 月期中間期	302	34. 3	1, 095	7. 0	357	△4. 5	1, 755	8. 1
2026年 3 月期中間期	225	71. 7	1, 023	34. 2	374	△11. 2	1, 623	23. 4
(参考) 2026年 3 月期	741		2, 312		765		3, 819	

- (注) 1 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
2 パーセント表示は、対前年同期増減率を示しております。

<未来社会ソリューション事業>

エネルギーを中心にソリューション売上が伸長したことから、売上高は2,238百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は302百万円（同34.3%増）となりました。

<産業技術ソリューション事業>

I o T・ロボティクスにおいてI T点呼システム「C a g o u I T点呼」及び製造業向けソリューションが伸長したほか、ソーシャルメディアをはじめとする各ソリューションの売上が拡大しました。さらに、半導体関連向けの開発案件も堅調に推移した結果、売上高は6,930百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益は1,095百万円（同7.0%増）となりました。

<顧客共創ビジネス事業>

M & Aの実施により売上高が増加したほか、金融系システム開発が堅調に推移した結果、売上高は4,290百万円（前年同期比14.2%増）、営業利益は357百万円（同4.5%減）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ591百万円減少し、17,755百万円となりました。これは、現金及び預金が988百万円増加しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が1,748百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,050百万円増加し、10,871百万円となりました。これは、土地が526百万円、投資その他の資産が524百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は458百万円増加し、28,627百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ382百万円減少し、6,248百万円となりました。これは、短期借入金347百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ82百万円増加し、911百万円となりました。これは、その他に含まれる長期契約負債が86百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は299百万円減少し、7,159百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ758百万円増加し、21,467百万円となりました。これは、配当金の支払が646百万円ありましたが、親会社株主に帰属する中間純利益が1,228百万円となったことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ988百万円増加し、9,176百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3,008百万円(前年同期は1,936百万円の収入)となりました。これは、税金等調整前中間純利益が1,828百万円となり、法人税等の支払額が705百万円ありましたが、売上債権及び契約資産の減少による収入が1,748百万円あったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は984百万円(前年同期は142百万円の使用)となりました。これは、有価証券の売却による収入が172百万円ありましたが、有形固定資産の取得による支出が662百万円、投資有価証券の取得による支出が545百万円あったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,035百万円(前年同期は588百万円の使用)となりました。これは、配当金の支払額が646百万円あり、短期借入金が327百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月28日に公表しました通期の連結業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,197,407	9,186,246
受取手形、売掛金及び契約資産	9,193,968	7,445,917
有価証券	250,000	200,000
商品及び製品	120,630	129,213
仕掛品	80,603	184,906
原材料及び貯蔵品	140,361	140,910
その他	365,421	469,445
貸倒引当金	△827	△827
流動資産合計	18,347,564	17,755,812
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,367,183	1,424,254
土地	3,861,974	4,388,778
その他(純額)	274,789	258,611
有形固定資産合計	5,503,948	6,071,644
無形固定資産		
のれん	427,468	382,471
その他	74,513	77,811
無形固定資産合計	501,981	460,283
投資その他の資産	3,815,380	4,339,852
固定資産合計	9,821,310	10,871,781
資産合計	28,168,874	28,627,593
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,552,349	1,527,274
短期借入金	1,570,642	1,222,942
未払法人税等	773,368	613,177
賞与引当金	1,378,827	1,340,460
製品保証引当金	3,621	1,226
その他	1,352,048	1,543,384
流動負債合計	6,630,857	6,248,466
固定負債		
長期借入金	92,342	74,346
リース債務	77,673	52,432
繰延税金負債	136,196	167,589
役員退職慰労引当金	181,500	181,500
退職給付に係る負債	136,194	138,574
資産除去債務	37,099	38,583
その他	167,920	258,423
固定負債合計	828,925	911,448
負債合計	7,459,783	7,159,914

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,200	440,200
資本剰余金	317,910	339,824
利益剰余金	19,825,593	20,408,027
自己株式	△466,097	△443,961
株主資本合計	20,117,607	20,744,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	584,235	718,974
その他の包括利益累計額合計	584,235	718,974
新株予約権	7,249	4,613
純資産合計	20,709,091	21,467,679
負債純資産合計	28,168,874	28,627,593

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
売上高	12,315,629	13,458,461
売上原価	8,872,049	9,569,833
売上総利益	3,443,580	3,888,627
販売費及び一般管理費	1,820,458	2,133,543
営業利益	1,623,121	1,755,083
営業外収益		
受取利息	15,518	10,226
受取配当金	32,965	27,003
持分法による投資利益	612	542
有価証券売却益	—	22,500
投資事業組合運用益	—	13,830
受取賃貸料	4,920	9,742
受取保険金	—	953
その他	6,979	6,793
営業外収益合計	60,996	91,590
営業外費用		
支払利息	8,382	9,923
賃貸収入原価	2,081	3,447
投資事業組合運用損	7,484	—
その他	6,038	4,702
営業外費用合計	23,987	18,073
経常利益	1,660,130	1,828,601
特別利益		
投資有価証券売却益	18,593	—
特別利益合計	18,593	—
税金等調整前中間純利益	1,678,723	1,828,601
法人税、住民税及び事業税	525,714	550,543
法人税等調整額	14,954	49,148
法人税等合計	540,669	599,692
中間純利益	1,138,054	1,228,908
親会社株主に帰属する中間純利益	1,138,054	1,228,908

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
中間純利益	1,138,054	1,228,908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	122,053	134,739
その他の包括利益合計	122,053	134,739
中間包括利益	1,260,107	1,363,648
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,260,107	1,363,648

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,678,723	1,828,601
減価償却費	104,159	108,422
のれん償却額	—	44,996
株式報酬費用	33,678	8,695
賞与引当金の増減額(△は減少)	59,435	△38,366
受注損失引当金の増減額(△は減少)	2,142	—
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△32	△2,395
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△371	2,380
有価証券売却損益(△は益)	—	△22,500
投資有価証券売却損益(△は益)	△18,593	—
投資事業組合運用損益(△は益)	7,484	△13,830
持分法による投資損益(△は益)	△612	△542
受取利息及び受取配当金	△48,484	△37,229
支払利息	8,382	9,923
受取賃貸料	△4,920	△9,742
賃貸費用	2,081	3,447
保険解約返戻金	△2,168	△1,336
受取保険金	—	△953
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	752,886	1,748,050
棚卸資産の増減額(△は増加)	△48,884	△113,435
営業債務の増減額(△は減少)	△219,530	18,383
契約負債の増減額(△は減少)	246,712	269,760
未払消費税等の増減額(△は減少)	△33,124	△121,038
その他	△19,693	2,963
小計	2,499,271	3,684,253
利息及び配当金の受取額	44,334	37,933
保険金の受取額	—	953
保険解約返戻金の受取額	2,168	1,336
利息の支払額	△8,382	△9,923
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△601,050	△705,687
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,936,341	3,008,866
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△150,000	—
有価証券の売却による収入	—	172,500
有価証券の償還による収入	146,455	—
有形固定資産の取得による支出	△59,041	△662,230
無形固定資産の取得による支出	△8,125	△19,547
投資有価証券の取得による支出	△100,000	△545,000
投資有価証券の売却による収入	19,265	—
定期預金の預入による支出	—	△33
投資その他の資産の増減額(△は増加)	685	△4,728
投資不動産の賃貸による収入	5,085	10,622
投資不動産の賃貸による支出	△1,127	△1,564
投資事業組合からの分配による収入	3,812	61,451
預り保証金の受入による収入	—	4,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△142,991	△984,531

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	142,400	△327,700
長期借入金の返済による支出	△60,238	△37,996
リース債務の返済による支出	△23,654	△23,361
配当金の支払額	△646,659	△646,474
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△588,151	△1,035,530
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,205,198	988,804
現金及び現金同等物の期首残高	7,586,071	8,187,407
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,791,269	9,176,212

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	未来社会 ソリューション 事業	産業技術 ソリューション 事業	顧客共創 ビジネス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,076,624	6,483,565	3,755,439	12,315,629	—	12,315,629
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	27,770	9,659	37,429	△37,429	—
計	2,076,624	6,511,335	3,765,099	12,353,059	△37,429	12,315,629
セグメント利益	225,488	1,023,515	374,116	1,623,121	—	1,623,121

(注) 1 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、セグメント利益の算定上合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	未来社会 ソリューション 事業	産業技術 ソリューション 事業	顧客共創 ビジネス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,238,139	6,930,020	4,290,301	13,458,461	—	13,458,461
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5,092	30,726	11,515	47,334	△47,334	—
計	2,243,231	6,960,746	4,301,817	13,505,795	△47,334	13,458,461
セグメント利益	302,778	1,095,122	357,182	1,755,083	—	1,755,083

(注) 1 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、セグメント利益の算定上合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、従来「顧客業務インテグレーション事業」としていた報告セグメントの名称を「顧客共創ビジネス事業」に変更しております。当該変更は報告セグメント名称の変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は変更後のセグメント名称で記載しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	未来社会 ソリューション 事業	産業技術 ソリューション 事業	顧客共創 ビジネス事業	
一時点で移転される財	25,771	218,803	8,218	252,794
一定の期間にわたり 移転される財	2,050,815	6,262,017	3,747,221	12,060,054
顧客との契約から生じる収益	2,076,586	6,480,821	3,755,439	12,312,848
その他の収益	37	2,743	—	2,780
外部顧客への売上高	2,076,624	6,483,565	3,755,439	12,315,629

当中間連結会計期間(自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	未来社会 ソリューション 事業	産業技術 ソリューション 事業	顧客共創 ビジネス事業	
一時点で移転される財	18,705	234,830	15,495	269,031
一定の期間にわたり 移転される財	2,219,013	6,692,430	4,274,806	13,186,249
顧客との契約から生じる収益	2,237,718	6,927,260	4,290,301	13,455,280
その他の収益	420	2,759	—	3,180
外部顧客への売上高	2,238,139	6,930,020	4,290,301	13,458,461